62 01 02 01 09 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	渋沢栄一顕彰事業	担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	6201
第2次総合計画 行政分野別 施策名		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 深谷市文化財保護条例 深谷市渋沢栄一記念館条例				
中項目	200002 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり						
小項目	200002 郷土の歴史・文化の継承と活用						

事業概要	主催事業を通じて渋沢栄一をはじめとする先人の業績を広く知らしめる。 論語の里エリアで活躍するガイドボランティアの育成を行う。また、ガイドボランティアとの協働によるイベントを継続的に開催する。
目的 ※何のために	渋沢栄一をはじめとする先人の業績を広く知らしめるため。
対象 ※誰・何を対象に	「論語の里」訪問者。
手段 ※どのように	渋沢栄一記念館をはじめとする、栄一ゆかりの施設での各種イベントの開催や、「論語の里」ガイドボランティアとの協働事業の実施、来訪者への解説など。
成果 ※何を求めるか	渋沢栄一をはじめとする先人の業績に対する関心を喚起し、「論語の里」訪問者の増加へとつなげていく。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	地域文化振興費	渋沢栄一翁顕彰事業	79,045,693
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 渋沢栄一翁の顕彰に関すること	・
・ 市民による渋沢栄一顕彰事業に関する支援	・
・ 論語の里ボランティアガイドの育成	・
・ 渋沢栄一顕彰協力員との連絡調整	・
・ 渋沢栄一翁と論語の里整備活用計画の進捗管理	・
・ 論語の里エリア内施設の整備	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	
事業費	予算（現額）		10,708,000	22,567,000	114,885,300	143,939,000	22,627,000	
	決算額		9,172,525	18,850,788	66,285,427	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	140,000	220,000	2,180,000	0	0	
		地方債	0	0	0	68,000,000	0	
		他特定財源	73,850	5,719,000	48,250,000	50,250,000	16,810,000	
		一般財源	8,958,675	12,911,788	15,855,427	25,689,000	5,817,000	
人件費	従事職員数（人）		1.35	1.70	1.35	1.00	1.00	
	人件費相当試算 ※1		10,216,800	13,229,400	10,612,350	8,148,000	8,148,000	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			19,389,325	32,080,188	76,897,777	152,087,000	30,775,000	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	渋沢栄一顕彰事業の実施回数	目標値	回							■
			実績値		11.00	15.00	16.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		中核的事業以外は、時機に応じた単年度事業の増減が想定されるため。							
□	活動指標２	渋沢栄一顕彰ボランティア養成講座の実施回数	目標値	回							■
			実績値		0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		ボランティア団体が発足し、養成講座の主催が団体に移行したため。							
■	成果指標１	渋沢栄一顕彰事業の参加者数	目標値	千人	3.00	4.00	6.00	4.00	4.00	4.00	□
			実績値		4.00	6.00	16.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度比増を目標。但し令和２年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見直し							
□	成果指標２	渋沢栄一顕彰ボランティアの人数	目標値	人							■
			実績値		36.00	35.00	38.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		ボランティア団体発足後は団体の勧誘活動に移行するため。							
□	成果指標３	栄一塾開催回数	目標値	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	□
			実績値		4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年４回開催を目指すが令和２年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見直し							
■	効率指標１	栄一塾参加者数	目標値	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	□
			実績値		132.00	114.00	121.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各回定員５０名。但し令和２年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見直し							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 当初予定していた事業を目標通り達成することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 すべての事業において参加者が増加した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	A	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 新一万円札肖像や大河ドラマで注目され、見学者が激増する中でも、全事業を実施し、効率的な事業展開を果たすことができた。

評価者	渋沢栄一記念館長　澁澤武雄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	ボランティアの事業計画立案に際し、より集客性の高くなる方策を提案し支援していきたい。
達成状況 及び その効果	旧渋沢邸「中の家」南側施設における「お休み処」の開設など、ボランティアの発意による事業が実施できた。ボランティアとの協働によるイベントの実施により幅広い事業展開ができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一顕彰事業	担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	6201

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- ■ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

必要なガイドラインに沿って対応するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた形で活動していきたい。

評価者	渋沢栄一政策推進部長　青木克尚

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

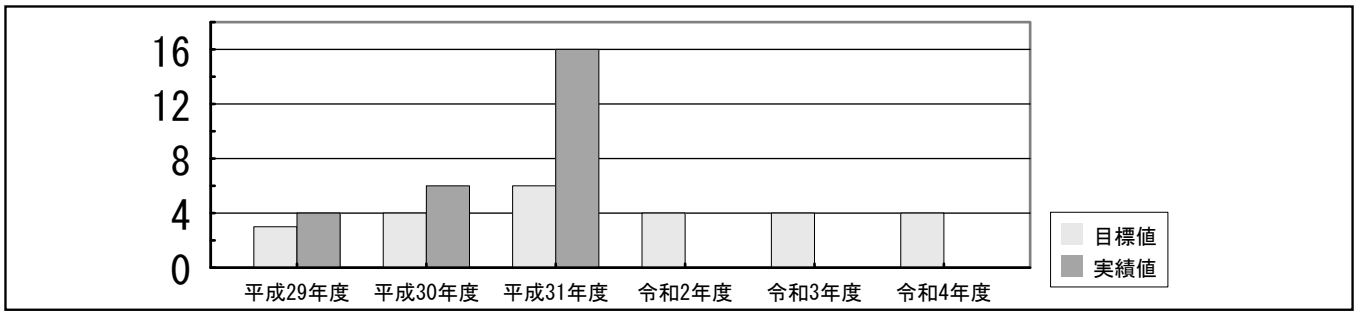
改善・改革案	参加者人数の縮減や人と人との距離をとる座席の設置など、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めたうえでの事業実施を図る必要がある。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

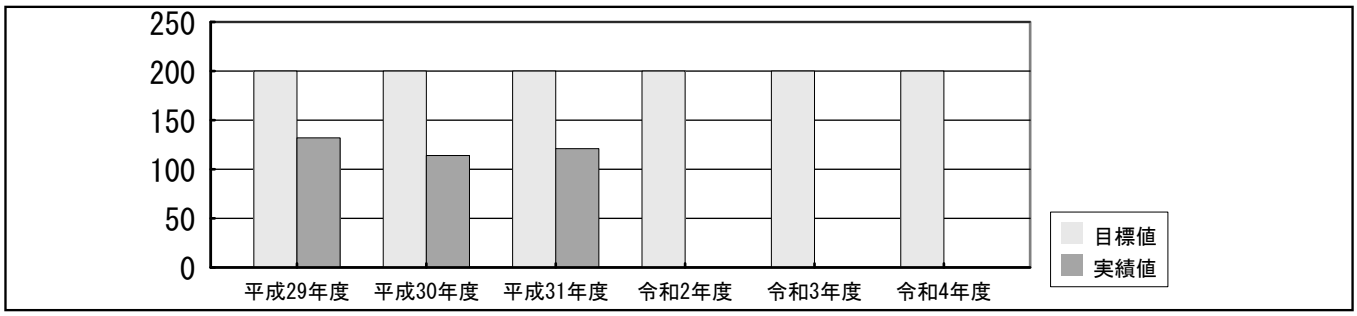
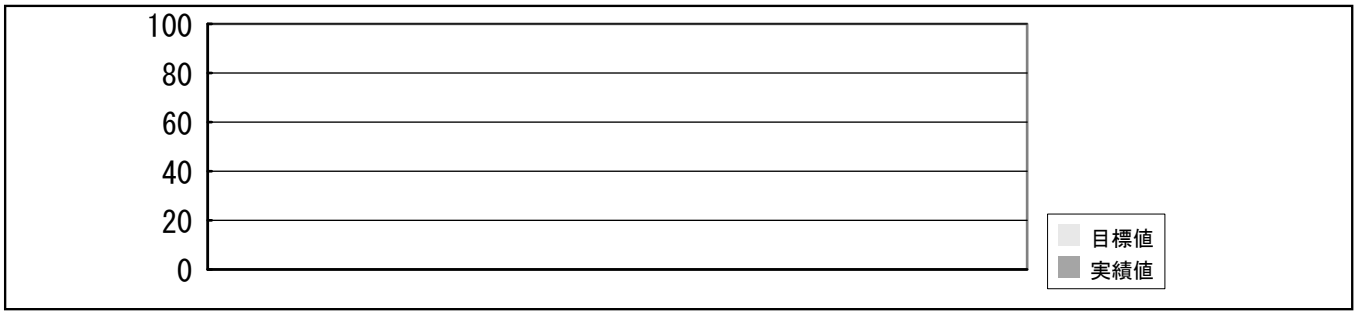
今後の課題	ボランティアの発意による事業の実施例も増えてきたことから、段階的にボランティアの自主的活動の展開を支援していきたい。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	渋沢栄一顕彰事業の参加者数



区分	効率指標１	指標名	栄一塾参加者数



区分		指標名